

かん じ お ん ど く め い じん  
漢 字 音 読 名 人

《 2 年 》



が っ き  
2・3 学 期

名前

東書配列

## 「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使います。裏のページは、友達との聞き合いに使います。  
一漢字ずつ、読めるようにしていきます。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。  
・線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。  
★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏のページでチャレンジします。  
・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。  
・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。  
・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

合

こた  
答えたら

ぜんぶあ  
全部合ってた  
がうかく  
合格だ



てあ  
手を合せて合掌。  
がっしょう



しゅっぱつ  
出発の合図の笛が鳴る。  
ふえ  
なる



ごうけい  
合計した数は  
かず  
いくつですか。



楽

おんがく  
音楽の時間は  
じかん

たの  
楽しく歌いましょう  
うた



えんそく  
遠足の楽しい思い出。  
たの  
おも  
で



やす  
休んだら体が楽になった。  
からだ  
らく



あた  
新しく買った  
か  
楽器を鳴らす。  
がっ  
き  
な



雪

おおゆき  
大雪になって  
たいへん

じよせつ  
除雪が大変だ  
たいへん



ゆき  
雪が降って辺りは真っ白。  
ふ  
あた  
ま  
しろ



ゆきがっせん  
雪合戦をして遊んだ。  
あそ



ふかふかの新雪の上を  
しんせつ  
うえ  
歩く。  
ある



合

答えたら

全部合<sup>ぜんごう</sup>ってた合格<sup>かく</sup>だ□手<sup>て</sup>を合<sup>あ</sup>わせて合<sup>あ</sup>掌<sup>しょう</sup>。□出<sup>しゅつ</sup>発<sup>ぱつ</sup>の合<sup>あ</sup>図<sup>ず</sup>の笛<sup>ふえ</sup>が鳴<sup>な</sup>る。□合<sup>あ</sup>計<sup>けい</sup>した数<sup>すう</sup>は

いくつですか。



楽

音楽<sup>おんがく</sup>の時<sup>とき</sup>間<sup>かん</sup>は楽<sup>らく</sup>しく歌<sup>うた</sup>いましう□遠<sup>えん</sup>足<sup>そく</sup>の楽<sup>らく</sup>しい思<sup>おも</sup>い出<sup>で</sup>。□休<sup>やす</sup>んだら体<sup>てい</sup>が楽<sup>らく</sup>にな<sup>な</sup>った。□新<sup>しん</sup>しく買<sup>か</sup>った楽<sup>がく</sup>器<sup>き</sup>を鳴<sup>な</sup>らす。

雪

大<sup>だい</sup>雪<sup>せつ</sup>にな<sup>な</sup>って除<sup>じょ</sup>雪<sup>せつ</sup>が大<sup>だい</sup>変<sup>へん</sup>だ□雪<sup>ゆき</sup>が降<sup>ふ</sup>って辺<sup>あた</sup>りは真<sup>ま</sup>っ白<sup>しろ</sup>。□雪<sup>ゆき</sup>合<sup>あ</sup>戦<sup>せん</sup>をし<sup>し</sup>て遊<sup>あそ</sup>んだ。□ふかふかの新<sup>しん</sup>雪<sup>せつ</sup>の上<sup>うへ</sup>を歩<sup>あ</sup>く。

## 顔

顔を洗うことを  
洗顔という



□君の笑顔は素敵だね。



□顔色が良くないよ。  
大丈夫？



□顔面にボールが当たった。



## 食

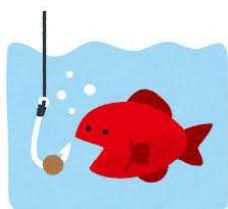
夕食は  
みんなで食べると楽しいね



□お肉をいっぱい食べた。



□えさに食いつく魚。



□今週は、給食当番だ。



## 歩

一日に  
歩く歩数は一万歩



□歩みを止めずに  
進みましょう。



□学校まで歩いて通う。



□道路では、歩道を歩く。



71

サイン

顔

顔を洗うことを  
洗顔という



君の笑顔は素敵だね。



顔色が良くないよ。  
大丈夫？



顔面にボールが当たった。



72

サイン

食

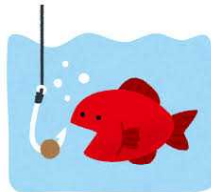
夕食は  
みんなで食べると楽しいね



お肉をいっぱい食べた。



えさに食いつく魚。



今週は、給食当番だ。



73

サイン

歩

一日に  
歩く歩数は一万歩



歩みを止めずに  
進みましょう。



学校まで歩いて通う。



道路では、歩道を歩く。





走

助走から一気に  
全力で走り切った



□家まで走って帰りました。



□お母さんからの  
走り書きのメモ。



□リレーで力走する。



止

信号の

赤は「止まれ」だ  
一旦停止



□電池が切れて  
時計が止まる。



□鳥が木に止まっている。



□雨で運動会が  
中止になる。



弟

弟と

兄弟げんかをよくします



□二つ年下の弟は  
とても元気だ。



□三人兄弟の長男。



□大工の親方に  
弟子入りする。



走

助走<sup>じよ</sup>から一<sup>いっ</sup>気に  
全<sup>ぜん</sup>力で走<sup>はし</sup>り切<sup>き</sup>った



□家<sup>い</sup>まで走<sup>はし</sup>って帰<sup>かえ</sup>りました。



□お母<sup>お</sup>さんからの  
走<sup>はし</sup>り書<sup>か</sup>きのメモ。



□リレーで力<sup>ちから</sup>走<sup>はし</sup>する。



止

信号<sup>しんごう</sup>の

赤<sup>あか</sup>は「止<sup>と</sup>まれ」だ  
一<sup>いっ</sup>旦<sup>たん</sup>停<sup>てい</sup>止<sup>し</sup>



□電<sup>でん</sup>池<sup>ち</sup>が切<sup>き</sup>れて

時<sup>じ</sup>計<sup>けい</sup>が止<sup>と</sup>まる。



□鳥<sup>とり</sup>が木<sup>き</sup>に止<sup>と</sup>まっている。



□雨<sup>あめ</sup>で運<sup>うん</sup>動<sup>どう</sup>会<sup>かい</sup>が  
中<sup>ちゆう</sup>止<sup>し</sup>になる。



弟

弟<sup>てい</sup>と

兄<sup>けい</sup>弟<sup>てい</sup>げんかをよくします



□二<sup>に</sup>つ年<sup>ねん</sup>下<sup>げ</sup>の弟<sup>てい</sup>は

と<sup>と</sup>ても元<sup>げん</sup>氣<sup>き</sup>だ。



□三<sup>さん</sup>人<sup>にん</sup>兄<sup>けい</sup>弟<sup>てい</sup>の長<sup>ちやう</sup>男<sup>なん</sup>。



□大<sup>だい</sup>工<sup>こう</sup>の親<sup>おや</sup>方<sup>かた</sup>に  
弟<sup>てい</sup>子<sup>し</sup>入<sup>い</sup>りする。





妹

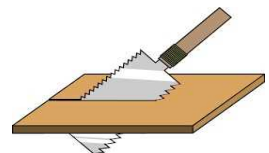
三姉妹  
さんしまい一番下の妹は甘えんぼ  
いちばんした いもつと あま妹は、すぐ泣きます。  
いもつと な妹は幼稚園に通っている。  
いもつと ようちえん かよ顔がそっくりな  
かお ふたご双子の姉妹。  
ふたご しまい

万

一万円  
いちまんえん出しかばんを買いました  
だ ばん か五十万円もするテレビ。  
ごじゅうまんえんこの市の人口は約五万人。  
し じんこう やくごまんにん大阪で開かれる  
おおさか ひら万国博覧会。  
ばんこくはくらんかい

切

のこぎりで

木を切り  
き二つに切断する  
ふた せつだん強い風で  
つよ かぜ風揚げの糸が  
たこあ いと  
切れた。  
き切手を貼って手紙を出す。  
きつて は てがみ だす友達を  
ともだち大切に  
たいせつ  
する。

妹

三姉妹

一番下の妹は甘えんぼ


☐ 妹は、すぐ泣きます。

☐ 妹は幼稚園に通っている。

☐ 顔がそっくりな

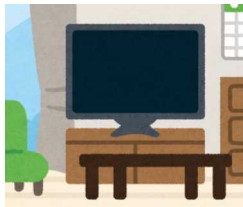
双子の姉妹。



万

一万円

出しかばんを買いました


☐ 五十万円もするテレビ。

☐ この市の人口は約五万人。

☐ 大阪で開かれる

万国博覧会。

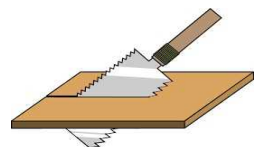


切

のこぎりで

木を切り

二つに切断する


☐ 強い風で

 風揚げの糸が  
切れた。

☐ 切手を貼って手紙を出す。

☐ 友達を

大切にする。



才

子どもは  
遊びの天才だ



音楽の天才といわれた  
ベートーベン。



君には  
絵の才能がある。



僕は今年八才です。



語

外国語  
小学校から習います



国語の時間に  
作文を書く。



とても楽しい物語。



語り手と聞き手。



台

台風の強い風で  
家が揺れる



すべり台上から下まで  
一直線。



台所で料理を作る。



踏み台から下りる。



80

サイン

才

子どもは  
遊びの天才だ



□音楽の天才といわれた

ベートーベン。



□君には

絵の才能がある。



□僕は今年八才です。



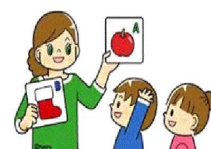
81

サイン

語

外国語

小学校から習います



□国語の時間に

作文を書く。



□とても楽しい物語。



□語り手と聞き手。



82

サイン

台

台風の強い風で  
家が揺れる



□すべり台上から下まで

一直線。



□台所で料理を作る。



□踏み台から下りる。





絵

絵画教室で

絵を習う



□ 夏休みの思い出を

絵日記に書く。



□ 図書室で

絵本を読む。



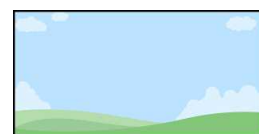
□ 画用紙に花の絵を



広

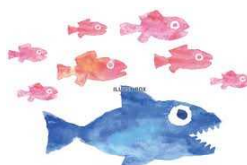
青空が広がる

広大な空



□ 広い海には

大きな魚がいる。



□ 広場でサッカーをした。



□ 新聞に広告の紙が

入っている。



図

図書室で

昆虫図鑑を読みました



□ 明日の図工は

粘土細工だ。



□ 学校までの道を

絵地図にする。



□ 図や絵を入れて

ポスターを作る。



# 絵

サイン

絵画教室で

絵を習う



□夏休みの思い出を

絵日記に書く。



□図書室で

絵本を読む。



□画用紙に花の絵をかい

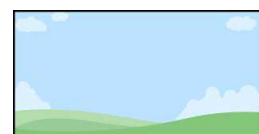


# 広

サイン

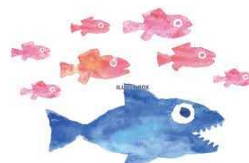
青空が広がる

広大な空



□広い海には

大きな魚がいる。



□広場でサッカーをした。



□新聞に広告の紙が

入っている。



# 図

サイン

図書室で

昆虫図鑑を読みました



□明日の図工は

粘土細工だ。



□学校までの道を

絵地図にする



□図や絵を入れて

ポスターを作る。





工

工夫くふうして紙工作かみこうさくをやってみた□ 図工ずこうの時間じかんは楽しいな。□ 自動車工場じどうしゃこうじょうの見学けんがく。□ 大工だいくさんが家いえを建たてる。

北

日本にほんの一番北いちばんきたは北海道ほっかいどう□ モンゴルは中国ちゅうごくの北きたの方ほう。□ 寒さむい北風きたかぜが吹ふく。□ 東西南北とうざいなんぼく、四つよっの方角ほうかく。

近

近づちかいてワツとおどかす近所きんじょの子こ□ 家いえから学校がっこうまでは近ちかい。□ 顔かおを近づちかけてよく見みる。□ 校外学こうがいがく習しゅうが間近まぢかに迫せまる。

工

工夫くふうして

紙工作をやってみた



サイン

□図工の時間は楽しいな。



□自動車工場の見学。



□大工さんが家を建てる。



北

日本の一番北は

北海道



サイン

□モンゴルは中国の北の方。



□寒い北風が吹く。



□東西南北、

四つの方向。



近

近づいて

ワツとおどかす近所の子



サイン

□家から学校までは近い。



□顔を近づけてよく見る。



□校外学習が

間近に迫る。



## 引

強引に引っ張ったから  
切れちゃった



綱引きの勝負は  
引き分け。



地面に線を引く。



地球の引力、  
ニュートンが発見。



## 後

一番後ろは  
「最後」です



勉強を後回しにして  
遊ぶ。



明日の天気予報は  
「雨、後、晴れ」。

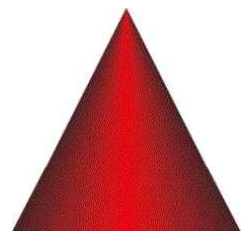


ゲームの後半で逆転した。



## 形

三角形は  
とがった形



ボールは、  
丸い形をしている。



長方形や正方形の  
形をした色紙。



ひな人形を飾る。



## 引

強引に引<sup>ひ</sup>つ張<sup>は</sup>ったから  
切<sup>き</sup>れちゃった



□綱<sup>つな</sup>引<sup>ひ</sup>きの勝<sup>しょう</sup>負<sup>ひ</sup>は  
引<sup>ひ</sup>き分<sup>わ</sup>け。



□地<sup>め</sup>面<sup>ん</sup>に線<sup>せん</sup>を引<sup>ひ</sup>く。



□地<sup>ち</sup>球<sup>きゅう</sup>の引<sup>ひ</sup>力<sup>りき</sup>、  
ニユートンが発<sup>は</sup>見<sup>けん</sup>。



## 後

一番<sup>いちばん</sup>後<sup>ご</sup>ろは  
「最<sup>さい</sup>後<sup>ご</sup>」です



□勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>を後<sup>ご</sup>回<sup>かい</sup>しにして  
遊<sup>あそ</sup>ぶ。



□明<sup>あ</sup>日<sup>にち</sup>の天<sup>てん</sup>気<sup>き</sup>予<sup>よ</sup>報<sup>ほう</sup>は  
「雨<sup>あめ</sup>、後<sup>ご</sup>、晴<sup>は</sup>れ」。

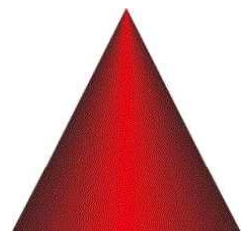


□ゲームの後<sup>ご</sup>半<sup>はん</sup>で逆<sup>ぎやく</sup>転<sup>てん</sup>した。



## 形

三<sup>さん</sup>角<sup>かく</sup>形<sup>けい</sup>は  
とが<sup>とが</sup>った形<sup>けい</sup>



□ボ<sup>ぼ</sup>ールは、  
丸<sup>まる</sup>い形<sup>けい</sup>をして<sup>して</sup>い<sup>い</sup>る。



□長<sup>ちやう</sup>方<sup>ほう</sup>形<sup>けい</sup>や正<sup>せい</sup>方<sup>ほう</sup>形<sup>けい</sup>の  
形<sup>けい</sup>をし<sup>し</sup>た色<sup>いろ</sup>紙<sup>し</sup>。



□ひ<sup>ひ</sup>な人<sup>ひと</sup>形<sup>がた</sup>を飾<sup>かざ</sup>る。





内

室内で

豆まきをした

「福は内 鬼は外」



□ 黄色い線の内側で

電車を待つ。



□ 内気で気が弱い。



□ 町内の店で

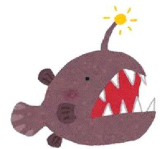
お菓子をかう。



海

深い海の底にいる

深海魚



□ 海は広いな

大きいな。



□ 海で泳ぐ海水浴。

□ 海岸で弟と

貝を拾う。



新

新学期

新しいクラスになったよ



□ 新しいやり方を考えた。



□ 新たな気分になる

お正月。

□ 父が新車を買った。



内

室内で

豆まきをした

「福は内 鬼は外」



サイン

黄色い線の内側で

電車を待つ。



内気で気が弱い。

町内の店で

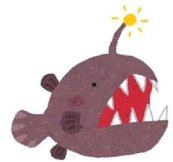
お菓子をかう。



海

深い海の底にいる

深海魚



サイン

海は広いな

大きいな。



海で泳ぐ海水浴。

海岸で弟と

貝を拾う。



新

新学期

新しいクラスになったよ



サイン

新しいやり方を考えた。



新たな気分になる

お正月。

父が新車を買った。





**強**

相手は強いぞ  
強敵だ



弱気になるな、  
強気でいこう。



算数の勉強をがんばる。



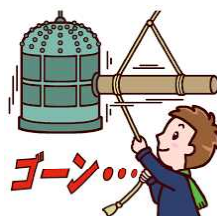
強引なやり方を  
する北風。

**鳴**

空では雷鳴  
鳥も鳴き止む  
嵐の夜



除夜の鐘を  
鳴らす。



お昼のサイレンが鳴る。



毛虫を見て  
悲鳴を上げる。

**雲**

積乱雲  
入道雲と呼んでいる



青空に細い一筋、  
飛行機雲。



空に雨雲が広がる。



山の上から  
雲海が見えた。



**強**

相手は強いぞ

強敵だ



弱気になるな、

強気で行こう。



算数の勉強をがんばる。

強引なやり方を  
する北風。**鳴**

空では雷鳴

鳥も鳴き止む

嵐の夜



除夜の鐘を

鳴らす。



お昼のサイレンが鳴る。



毛虫を見て

悲鳴を上げる。

**雲**

積乱雲

入道雲と呼んでいる



青空に細い一筋、

飛行機雲。



空に雨雲が広がる。



山の上から

雲海が見えた。





晴

「快晴」とは

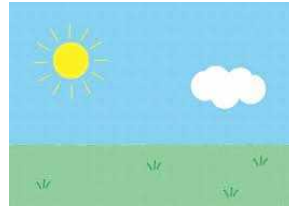
雲一つ無く

晴れる日のこと



□ 晴れた空に

白い雲。



□ 晴れ時々曇り。



□ 今週は

晴天が続いている。



船

風船を

船の上から飛ばしたよ



□ 新しい船が港に入る。



□ 船に乗って外国に行く。



□ 大きな船の船長さん。



店

商店街

いろいろな店が並んでる



□ 洋服を売っている

お店に入る。



□ お店の店員さん。



□ 駅の売店で新聞を買う

サラリーマン。





冬

熊さんは

冬の間は冬眠してる



□寒い冬が

やってきた。



□春、夏、秋、冬

四つの季節。



□一年で一番

夜の長い日が

冬至。



朝

朝が来た

今日も朝食おいしいな



□こんな計算、朝飯前だ。



□新聞の朝刊を読む。



□今朝は早く起きた。



週

日・月・火・水

木・金・土

一週間

□一週間は七日です。



□今週は交通安全週間だ。



□来週は

良い天気でしょう。



冬

熊<sup>くま</sup>さんは冬の間は冬<sup>みん</sup>眠してる□ 寒<sup>さむ</sup>い冬<sup>ふゆ</sup>が

やってきた。

□ 春<sup>はる</sup>、夏<sup>なつ</sup>、秋<sup>あき</sup>、冬<sup>ふゆ</sup>四<sup>よ</sup>つの季<sup>き</sup>節<sup>せつ</sup>。□ 一<sup>いち</sup>年<sup>ねん</sup>で一<sup>いち</sup>番<sup>ばん</sup>夜<sup>よ</sup>の長<sup>なが</sup>い日<sup>ひ</sup>が冬<sup>ふゆ</sup>至<sup>じ</sup>。

朝

朝<sup>あさ</sup>が来<sup>き</sup>た今日<sup>けふ</sup>も朝<sup>あさ</sup>食<sup>し</sup>おいしいな□ こんな計<sup>けい</sup>算<sup>さん</sup>、朝<sup>あさ</sup>飯<sup>めし</sup>前<sup>まへ</sup>だ。□ 新<sup>しん</sup>聞<sup>ぶん</sup>の朝<sup>あさ</sup>刊<sup>かん</sup>を<sup>を</sup>読<sup>よ</sup>む。□ 今<sup>けふ</sup>朝<sup>あさ</sup>は早<sup>はや</sup>く起<sup>お</sup>き<sup>き</sup>ら<sup>ら</sup>れ<sup>れ</sup>た。

週

日<sup>にち</sup>・月<sup>げつ</sup>・火<sup>か</sup>・水<sup>すい</sup>・木<sup>もく</sup>・金<sup>きん</sup>・土<sup>ど</sup>一<sup>いち</sup>週<sup>しゅう</sup>間<sup>かん</sup>□ 一<sup>いち</sup>週<sup>しゅう</sup>間<sup>かん</sup>は七<sup>しち</sup>日<sup>にち</sup>です。□ 今<sup>けふ</sup>週<sup>しゅう</sup>は交<sup>こう</sup>通<sup>つう</sup>安<sup>あん</sup>全<sup>ぜん</sup>週<sup>しゅう</sup>間<sup>かん</sup>だ。□ 来<sup>らい</sup>週<sup>しゅう</sup>は良<sup>よ</sup>い天<sup>てん</sup>気<sup>き</sup>でし<sup>し</sup>ょう。



## 市

市内しなの市場いちばで

魚さかなや野菜やさいを売うっている



市場いちばとは

物ものを売うり買かいする所ところ。

市長しちやうさんのお話はなしを聞きく。



市立図書館しりつとしょかんで

本ほんを借かりる。



## 茶

喫茶店きっさてんで

お茶ちやでも飲のんで

ゆっくりしましう



茶色ちやいろと黒くろと白しろの

三毛猫みけねこ。



茶ちやわんでご飯はんを食たべる。



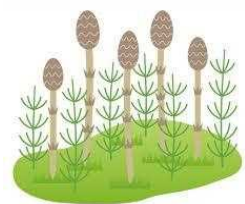
麦むぎの実みで作つくる麦茶むぎちや。



## 春

春はるの初はじめを

「早春そうしゆん」という



春はるが来きた春はるが来きた

どこに来きた。

春はるの七草ななくさ、言いえるかな？



春分しゆんぶんの日ひは

三月二十日頃さんがつはつかごろ。



104

市

市内の市場で

魚や野菜を売っている



サイン

□市場とは

物を売り買いする所。



□市長さんのお話を聞く。



□市立図書館で

本を借りる。



105

茶

喫茶店で

お茶でも飲んで

ゆっくりしましょう



サイン

□茶色と黒と白の

三毛猫。



□茶わんでご飯を食べる。



□麦の実で作る麦茶。

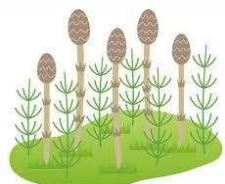


106

春

春の初めを

「早春」という



サイン

□春が来た春が来た

どこに来了。



□春の七草、言えるかな？



□春分の日

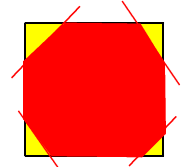
三月二十日頃。



角

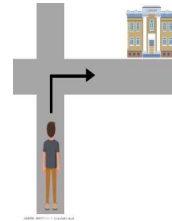
四角形

角を切ったら八角形



□あの角を曲がると、

僕の家。



□牛の頭には角がある。



□南の方角に一番星を見つけた。



夏

夏の初めを

初夏という



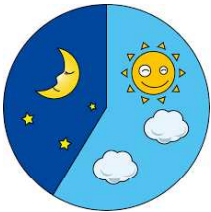
□夏休みが楽しみだ。



□夏空に広がる入道雲。



□一年中で一番昼の長い夏至。



秋

さわやかな

秋晴れ

秋分の日



□夏が過ぎて秋が来る。



□秋の夜長に読書する。



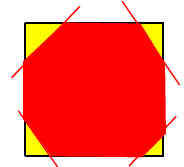
□中秋の名月のお月見。



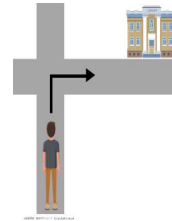
## 角

四角形

角を切ったら八角形



サイン

□あの角を曲<sup>ま</sup>がると、僕<sup>ぼく</sup>の家。

□牛の頭には角がある。



□南の方角に一番星を

見つけた。



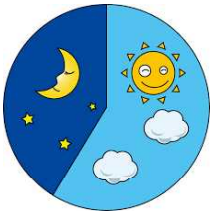
## 夏

夏の初<sup>はじ</sup>めを初夏<sup>しよ</sup>という

サイン

□夏休みが楽<sup>らく</sup>しみだ。□夏空に広<sup>ひろ</sup>がる入道雲。

□一年中で一番昼の長い

夏至<sup>し</sup>。

## 秋

さわやかな

秋晴れ

秋分の日



サイン

□夏<sup>す</sup>が過ぎて秋が来る。

□秋の夜長に読書する。



□中秋の名月の

お月見。





**東**東京は  
とうきょう大阪より東の方にある  
おおさか ひがし ほう
☐ 太陽が東から昇る。  
たいよう ひがし のぼ

☐ 東風が吹くと  
ひがしかぜ ふ  
雨になるという。  
あめ

☐ 東北地方で地震が  
とうほくちほう じしん
起きた。  
お
**南**南極は  
なんきょく南の端にあるんだよ  
みなみ はし
☐ 南の国から来たツバメ。  
みなみ くに きた ツバメ

☐ 春を知らせる南風、  
はる し 知らせる みなみかぜ  
「春一番」。  
はる いちばん

☐ 南の方の国を  
みなみ ほう くに  
南国という。  
なんごく
**西**日本より  
にほん より西にある西洋の国  
にし せいよう くに

ドイツやフランス


☐ 西の空が夕焼けで  
にし そら ゆうや  
真っ赤だ。  
まっか

☐ 西日が入って夏は暑い。  
にし び はい 入って なつ あつ

☐ 関西国際空港から  
かんさいこくさいくうこう  
外国に飛び立つ。  
がいこく と


110

**東**

東京は

大阪より東の方にある



サイン

□太陽が東から昇る。

□東風が吹くと

雨になるという。



□東北地方で地震が

起きた。

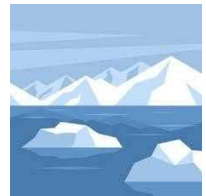


111

**南**

南極は

南の端にあるんだよ



サイン

□南の国から来たツバメ。



□春を知らせる南風、

「春一番」。

□南の方の国を

南国という。



112

**西**

日本より

西にある西洋の国

ドイツやフランス



サイン

□西の空が夕焼けで  
真っ赤だ。



□西日が入って夏は暑い。



□関西国際空港から

外国に飛び立つ。





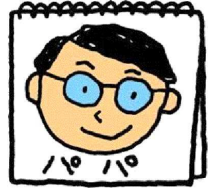
## ハゲ父

父

お父さん

父親とも

いいですね



□ お父さんが

夜遅く帰ってきた。



□ 父の車は新車だ。



□ 父と母を父母という。



## ムクママ

母

母親を

「お母ちゃん」と

呼んでるよ



□ 休日にお母さんと

買い物に行く。



□ 母の日に花をプレゼント。



□ 母と子を母子という。



## ワロヲ兄

兄

僕の兄

「お兄ちゃん」と

呼んでいる



□ 僕の兄は五年生だ。



□ お兄ちゃんは大きい。



□ 兄弟げんかをする。



113

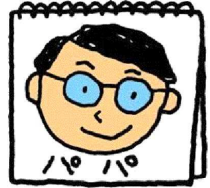
サイン

父

お父さん

父親とも

いますね



□お父さんが

夜遅く<sup>おそ</sup>帰ってきた。

□父の車は新車だ。



□父と母を父母という。



114

サイン

母

母親を

「お母ちゃん」と

呼んで<sup>よ</sup>るよ

□休日にお母さんと

買い物<sup>もの</sup>に行く。

□母の日に花をプレゼント。



□母と子を母子という。



115

サイン

兄

僕の兄<sup>ぼく</sup>

「お兄ちゃん」と

呼んで<sup>よ</sup>いる□僕<sup>ぼく</sup>の兄は五年生だ。

□お兄ちゃんは大きい。



□兄弟げんかをする。



## 姉

姉のこと

「姉ちゃん」と呼ぶ妹は



□ 姉は中学二年生です。



□ お姉ちゃんは、歌が好きです。



□ 仲のいい姉妹。



## 昼

お昼だな

今日の昼食 カレーだよ



□ 夏は昼が長い。



□ 昼休み、図書室で読書した。



□ 昼夜ぶっ通しで工事する。



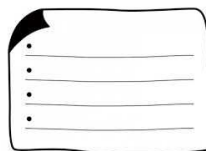
## 紙

画用紙は

絵かきに使う白い紙



□ 紙切れにメモをする。



□ 半紙に字を書く。



□ 手紙を書いて出しました。



116

姉

姉のこと

「姉ちゃん」と呼ぶ妹は



サイン

□姉は中学二年生です。



□お姉ちゃんは、歌が好きです。



□仲のいい姉妹。



117

昼

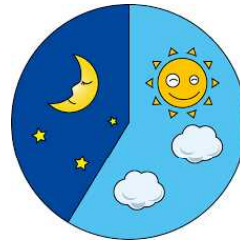
お昼だな

今日の昼食 カレーだよ



サイン

□夏は昼が長い。



□昼休み、図書室で

読書した。



□昼夜ぶっ通しで

工事する。



118

紙

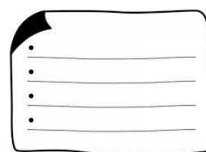
画用紙は

絵かきに使う白い紙



サイン

□紙切れにメモをする。



□半紙に字を書く。



□手紙を書いて

出しました。





## 室

教室で

静かに自習をした



理科室・図工室・音楽室。

理科室

図工室

音楽室

温室で花を育てる。



雨の日は室内で遊ぶ。



## 売

新聞も

本も売ってる駅の売店



スーパーの大売り出し。



あつという間に

売り切れた。



新しいゲームの発売日。



## 買

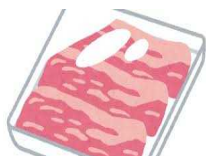
品物を

売ったり買ったり  
することを売買という



売り手と買い手。

スーパーで牛肉を買った。



近くの店まで

歩いて買い物に行く。





## 室

教室で

静かに自習をした



サイン

□理科室・図工室・音楽室。

理科室

図工室

音楽室

□温室で花を育てる。



□雨の日は室内で遊ぶ。



## 売

新聞も

本も売ってる駅の売店



サイン

□スーパーの大売り出し。



□あつという間に

売り切れた。



□新しいゲームの発売日。



## 買

品物を売ったり買ったり

することを売買という



サイン

□売り手と買い手。



□スーパーで牛肉を買った。



□近くの店まで

歩いて買い物に行く。



## 道

気をつけよう

細い道から

道路に出るとき



□道草をしないで

帰りましょう。

□横断歩道を渡る。



□みんなで使う道具は

大切に。



## 米

ぜひ食べて

おいしいお米の近江米



□お米は日本人の主食だ。



□今年の新米

格別うまい。



□アメリカは米国ともいう。



## 歌

歌の歌詞を

覚えて歌う



□きれいな歌声が

聞こえてくる。



□みんなで校歌を歌う。



□大きくなったら

歌手になりたい。



## 道

気をつけよう

細い道から

道路に出るとき



サイン

□道草をしないで

帰りましょう。

□横断歩道を渡る。



□みんなで使う道具は

大切に。



## 米

ぜひ食べて

おいしいお米の近江米



サイン

□お米は日本人の主食だ。



□今年の新米

格別うまい。



□アメリカは米国ともいう。



## 歌

歌の歌詞を

覚えて歌う



サイン

□きれいな歌声が

聞こえてくる。



□みんなで校歌を歌う。



□大きくなったら

歌手になりたい。



戸

戸を開けて

戸外に出て

遊びましょう



□ 入り口の戸をノックする。



□ 台風が近づき

雨戸を閉める。



□ 家の戸数を数える。



曜

土曜日

車洗いのお手伝い



□ 月曜日の二時間目は

国語。



□ 来週の水曜日は

音楽会です。



□ 日曜日は家で

ゆっくり休もう。



午

午後三時



おやつの時だ うれしいな



□ 今日の午前中は雨だった。



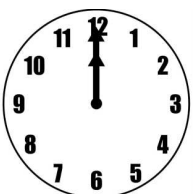
□ 明日の午後は

晴れるでしょう。



□ 昼の十二時を

「正午」という。





125

サイン

戸

戸を開けて

戸外に出て

遊びましょう


☐ 入り口の戸をノックする。

☐ 台風が近づき

雨戸を閉める。


☐ 家の戸数を数える。


126

サイン

曜

土曜日

車洗いのお手伝い


☐ 月曜日の二時間目は

国語。


☐ 来週の水曜日は

音楽会です。


☐ 日曜日は家で

ゆっくり休もう。



127

サイン

午



午後三時

おやつの時だ うれしいな

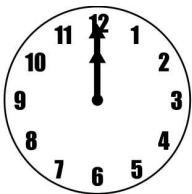

☐ 今日の午前中は雨だった。

☐ 明日の午後は

晴れるでしょう。


☐ 昼の十二時を

「正午」という。





## 谷

山と山の間の

くぼんだところが「谷」だ



□ 谷川のきれいな水。

□ 山の上から

谷底を見る。



□ 谷間を流れる川。



## 岩

岩山の岩石

道をふさぐ



□ 石の大きなものが「岩」。

□ 岩場をよじ登る。



□ ダイナマイトで

岩石をくずす。



## 池

公園の池で

魚が泳いでる



□ 池の中に水鳥の親子がいる。



□ リモコンの電池が切れた。



□ 水をためる池を

貯水池という。



128

# 谷

山と山の間の  
くぼんだところが「谷」だ



□谷川のきれいな水。

□山の上から

谷底<sup>そこ</sup>を見る。



□谷間<sup>なみ</sup>を流れる川。



129

# 岩

岩山の岩石  
道をふさぐ



□石の大きなものが「岩」。

□岩場<sup>のぼ</sup>をよじ登る。



□ダイナマイトで

岩石<sup>いし</sup>をくずす。



130

# 池

公園の池で  
魚<sup>お</sup>泳いでる



□池の中に水鳥の親子が  
いる。



□リモコンの電池<sup>電池</sup>が切れた。



□水をためる池<sup>ちよ</sup>を  
貯水池<sup>ちよ</sup>という。



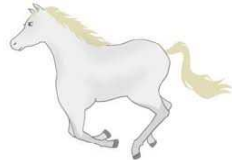
131

## 鳥

人の声  
ひとこえまねて鳴く鳥  
ななとり  
九官鳥  
きゅうかんちよう□ 木の上で小鳥がさえずる。  
きうえことり□ 鳥のように空を飛びたい。  
とりそらと□ 白鳥が池で泳いでいる。  
はくちよういけおよ

132

## 馬

馬二頭  
うまにとう並んで馬車を引いている  
ならばしやひ□ 白い馬が  
しろうまが走っていく。  
はし□ 昼休みに  
ひるやす竹馬に乗る。  
たけうまの□ 馬車で  
ばしや荷物を運ぶ。  
にもつはこ

133

## 首

百人一首  
ひやくにんいつしゆやりすぎて首が痛い  
くびいた□ キリンの首は長い。  
くびなが□ 犬に首輪をつける。  
いぬくびわ□ 日本の首都は東京です。  
にほんしゅととうきやう

131

## 鳥

人の声

まねて鳴く鳥 九官鳥



サイン

□木の上で小鳥がさえずる。



□鳥のように空を飛びたい。



□白鳥が池で泳いでいる。



132

## 馬

馬二頭

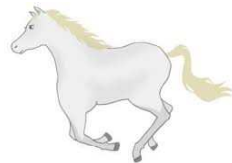
並んで馬車を引いている



サイン

□白い馬が

走っていく。



□昼休みに

竹馬に乗る。



□馬車で

荷物を運ぶ。



133

## 首

百人一首

やりすぎて首が痛い



サイン

□キリンの首は長い。



□犬に首輪をつける。



□日本の首都は東京です。





134

ハシムネネネネネ

番

一番で

ゴールできたよ

マラソン大会


☐ 出席番号の順番に

並ぶ。


☐ 今週の掃除当番は

音楽室だ。


☐ 今日のテレビ番組を

調べる。



135

ハクグロウネ魚

魚

水そうで

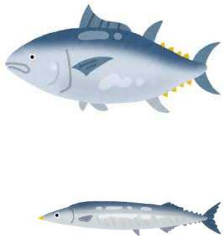
泳ぐ魚は金魚です


☐ 川で魚をつかんだ。

☐ 魚市場で魚を買う。

☐ マグロやサンマは

魚類です。



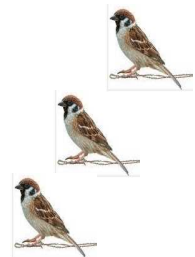
136

ニナ雨雪電

電

電線に

すずめが三羽止まってる

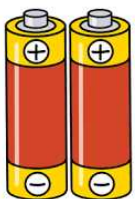

☐ 電話で長話を

しているお母さん。


☐ 電気で動くから電車。

☐ 新しい電池を店で

買ってくる。





134

サイン

番

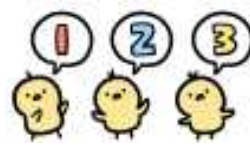
一番で

ゴールできたよ

マラソン大会


☐ 出席番号の順番に

並ぶ。


☐ 今週の掃除当番は

音楽室だ。


☐ 今日のテレビ番組を

調べる。



135

サイン

魚

水そうで

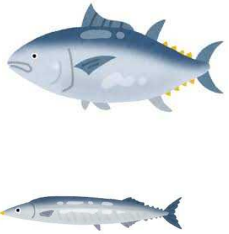
泳ぐ魚は金魚です


☐ 川で魚をつかんだ。

☐ 魚市場で魚を買う。

☐ マグロやサンマは

魚類です。



136

サイン

電

電線に

すずめが三羽止まってる

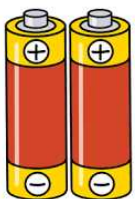

☐ 電話で長話を

しているお母さん。


☐ 電気で動くから電車。

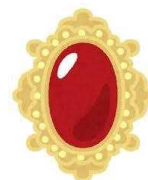
☐ 新しい電池を店で

買ってくる。



細

この飾り



細こまかい細さい工くがしてあるね

□ 細いけど強い

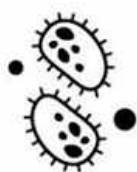


たこ糸いと。

□ 細かい雪が降ってきた。



□目に見えない小さな細菌。



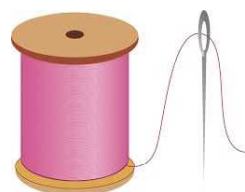
通

右側を



通とおつて通かよう通つう学がく路ろ

□ 針はりに糸いとを通とおす。



□ 夜は人通りが少ない。



□今は、交通安全週間です。



汽

汽車 | きしや  
汽車 | きしや



□ 汽車きしやに乗のって

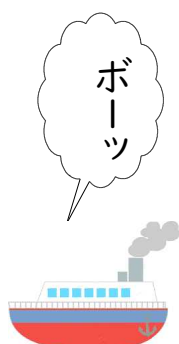


ワクワク気分。

□ 汽船が港に入る。



□ 船ふねの汽き笛てきが鳴なる。

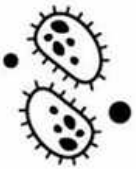


137

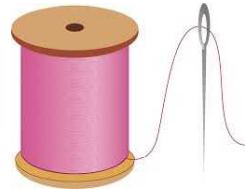
**細**この飾りかざり細かい細工こまかいこぎがしてあるね

□細いけど強い

たこ糸。

□細かい雪ゆきが降ふってきた。□目めに見えない小こさな細菌きん。

138

**通**右側みぎがわを通とって通とう通学路とがくろ□針はりに糸いとを通とす。□夜よは人通ひととりが少すくない。□今いまは、交あ通ん安ぜん全ぜん週間しゅうかんです。

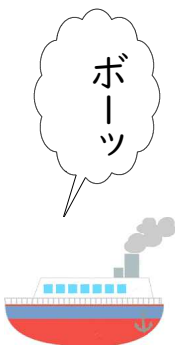
139

**汽**汽車きしや、汽車きしや

シュッポ、シュッポ

□汽車きしやに乗のって

ワクワク気分。

□汽船きせんが港みなとに入いる。□船ふねの汽笛てきが鳴なる。

140

フ  
刀

刀

二本の刀を使う  
二刀流



□よく切れる刀で  
竹を切る。

竹を切る。



□昔は小刀で鉛筆を  
削っていた。

削っていた。



□木で作った刀は木刀。



141

フ  
コ  
弓

弓

弓を引く  
的を狙って  
矢を射る 弓道



□バイオリンの弓は馬の毛で  
作られている。

作られている。



□体を弓なりに反らせる。

反らせる。



□日本の国は  
弓形をしている。

弓形を  
している。

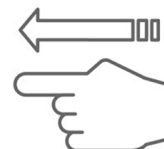


142

ハ  
ル  
ヒ  
矢  
矢

矢

矢印の  
指す方向へ行きなさい



□矢が的に当たる。

当たる。



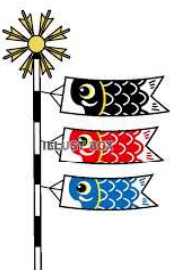
□矢が外れる。

外れる。



□こいのぼりの  
先に付ける矢車。

先に付ける矢車。



140

刀

二本の刀を使う

二刀流



サイン

□よく切れる刀で

竹を切る。



□昔は小刀で鉛筆を

削っていた。



□木で作った刀は木刀。



141

弓

弓を引き

的を狙って

矢を射る 弓道



サイン

□バイオリンの弓は馬の毛で

作られている。



□体を弓なりに反らせる。



□日本の国は

弓形を

している。

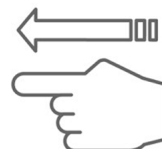


142

矢

矢印の

指す方向へ行きなさい



サイン

□矢が的に当たる。

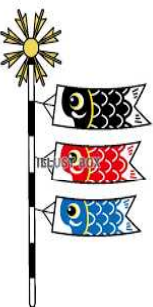


□矢が外れる。



□こいのぼりの

先に付ける矢車。





直

直線が

ゆがんでしまい  
引き直す

□ 計算まちがいを

直す。

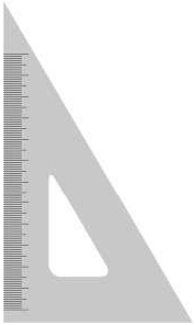


□ 正直者の

花咲かじいさん。



□ 直角三角形。



里

山から里へ

下りてきたサル



□ 人里を離れた山奥。



□ 里芋はおいしいね。



□ 「一里」は

約四キロメートル。



寺

金色に

輝くお寺

金閣寺



□ おばあさんがお寺参り。



□ 山のお寺の鐘が鳴る。



□ 寺子屋は

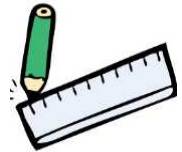
昔の学校。



143

直

直線が

ゆがんでしまい  
引き直す

サイン

□計算まちがいを

直す。

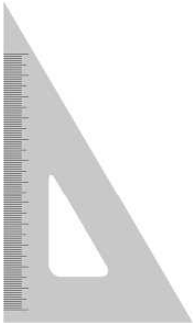


□正直者の

花咲かじいさん。



□直角三角形。



144

里

山から里へ

下りてきたサル



サイン

□人里を離れた山奥。

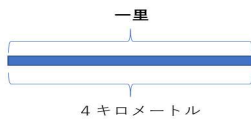


□里芋はおいしいね。



□「一里」は

約四キロメートル。



145

寺

金色に

輝くお寺

金閣寺



サイン

□おばあさんがお寺参り。



□山のお寺の鐘が鳴る。



□寺子屋は

昔の学校。



**黒**

黒くはない

でも黒板といえますね



□ 黒っぽい色の服を着る。



□ 大売り出しで

黒山の人だかり。



□ 黒人、白人、

みんな同じ

人間だ。

**弱**

強い動物が

弱い動物を食べる

弱肉強食の世界



□ 病気で体が弱る。



□ 弱音をはくな、

あと少しだ。



□ 声の強弱に気をつけて

歌を歌う。

**遠**

遠くまで

遠足に行きました



□ 僕の知らない遠くの町。



□ 遠回りして帰る。



□ 遠足の思い出を

作文に書く。



146

**黒**

黒くない

でも黒板ばんといひますね

サイン

□黒くろっぽい色いろの服ふくを着きる。□大だい売うりり出でしで黒山くろさんの人ひとだかり。□黒人くろじん、白人はくじん、みんな同おなじ人ひと間かんだ。

147

**弱**強つよい動物どうぶつが弱じやくい動物どうぶつを食くべる弱肉強食じやくじゆうきやうしきの世せ界かい

サイン

□病びやう気きで体ていが弱じやくる。□弱音じやくおんをはくな、あと少すくしだ。□声こゑの強弱きやうじやくに気きをつけて歌うたを歌うたう。

148

**遠**遠とほくまで遠足えんそくに行いきました

サイン

□僕ぼくの知しらない遠とほくの町まち。□遠回とほまわりして帰かえる。□遠足えんそくの思おもい出でを作しやう文ぶんに書かく。



古

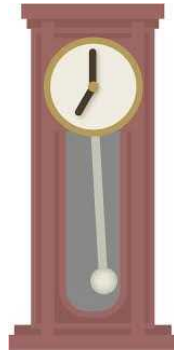
古い時代を

古代という



□ 古いアルバム写真を見る。

□ 大きなのっぽの古時計。



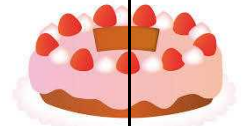
□ 中古車に乗っている。



半

このケーキ

私と姉で半分こ



□ 今、三時半です。



□ 今日(きょう)は学校(がっこう)が

半日(はんいち)で終わ(お)る日(ひ)。



□ 計画(けいかく)半ばで中止(ちゅうし)になった。



公

公園で

友達と遊んだよ



□ 物語(ものがたり)の主人公(しゅじんこう)。



□ 公平(こうへい)にお菓子(かし)を分(わ)ける。



□ アニメの新作映画(しんさくえいが)が

公開(こうかい)される。

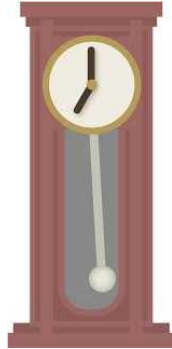


149

古

古い時代を  
だい古代という  
だい□古いアルバム写真を見る。  
しゃしん

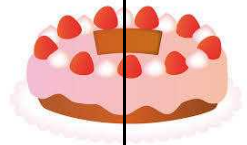
□大きなのっぽの古時計。

□中古車に乗っている。  
の

150

半

このケーキ

私と姉で半分こ  
わたし

□今、三時半です。

□今日は学校が  
お

半日で終わる日。



□計画半ばで中止になった。



151

公

公園で

友達と遊んだよ  
だち あそ□物語の主人公。  
もの しゅ□公平にお菓子を分ける。  
へい か□アニメの新作映画が  
えい  
公開される。  
かい



152

理

理科室は

三年生から使います



□理科で草花の観察をした。



□休んだ理由を先生に言う。



□自転車のパンクを修理する。



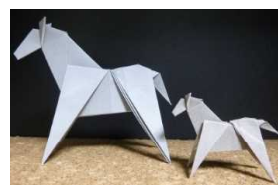
153

用

画用紙を

用いて作る

馬の親子



□火の用心 マッチ一本 火事の前。



□遠足の用意をする。



□家の用事があるので遊べない。



154

毎

歯みがきは

毎朝毎晩忘れずに



□毎日お手伝いをする。



□毎年、春にはツバメが来る。



□毎度ありがとうございます。





155

リリヨ帰帰

帰

家に帰ることを  
「帰宅」といいます



□ 帰ったら

遊ぶね。



□ 帰り道で雨に降られた。



□ 外国から帰国する。



156

リリヨ羽羽羽

羽

一羽の鳥  
羽を広げて飛んでいく



□ カラスの羽は黒い。



□ 羽子板の羽根。



□ 羽毛の布団で寝る。

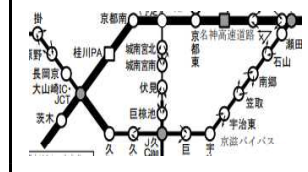


157

リリヨ京京

京

京滋バイパス  
を通過して  
京都に行く



□ 東京スカイツリーを  
見たい。



□ 京都にはたくさん  
の寺がある。



□ かわいい京人形を  
買う。



155

帰

家に帰ることを

「帰宅<sup>たく</sup>」といいます

サイン

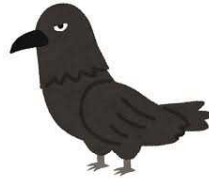
□ 帰<sup>かえ</sup>ったら遊<sup>あそ</sup>ぼうね。□ 帰<sup>かえ</sup>り道<sup>みち</sup>で雨<sup>あめ</sup>に降<sup>ふ</sup>られた。□ 外国<sup>がいこく</sup>から帰<sup>かえ</sup>国<sup>こく</sup>する。

156

羽

一羽<sup>ひと</sup>の鳥羽<sup>は</sup>を広<sup>ひろ</sup>げて飛<sup>と</sup>んでいく

サイン

□ カラスの羽<sup>は</sup>は黒<sup>くろ</sup>い。□ 羽子<sup>うしこ</sup>板<sup>いた</sup>の羽<sup>は</sup>根<sup>ね</sup>。□ 羽毛<sup>ふも</sup>の布団<sup>ふとん</sup>で寝<sup>ね</sup>る。

157

京

京<sup>けい</sup>滋<sup>じ</sup>バイパスを通<sup>と</sup>って京<sup>けい</sup>都<sup>と</sup>に行く

サイン

□ 東京<sup>とうきょう</sup>スカイツリーを見<sup>み</sup>たい。□ 京<sup>けい</sup>都<sup>と</sup>にはた<sup>た</sup>くさん<sup>さん</sup>の寺<sup>てら</sup>がある。□ かわい<sup>かわ</sup>い<sup>い</sup>京<sup>けい</sup>人<sup>じん</sup>形<sup>がた</sup>を<sup>を</sup>買<sup>か</sup>う。

158

一十主麦麦

麦

麦が実る

六月頃を麦秋という



麦茶を飲んで

少し休もう。



小麦粉をこねて

パンを作る。



生麦生米生卵。



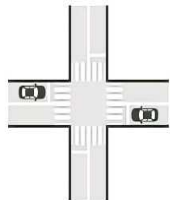
159

一六歩交

交

道と道

交わるところが交差点

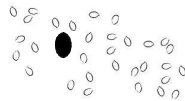


友達とあいさつを交わす。



米の中に

小石が交じっていた。



当番を交代してもらった。



160

一口日月早星

星

星空だ

土星金星よく見える



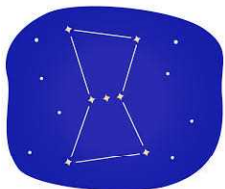
流れ星を見た。



星雲は星の集まり。



冬の星座オリオン。



158

麦

麦が実る

六月頃を麦秋という



□麦茶を飲んで  
少し休もう。



□小麦粉をこねて  
パンを作る。



□生麦生米生卵。

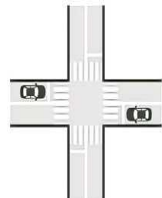


159

交

道と道

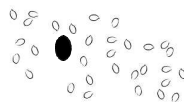
交わるところが交差点



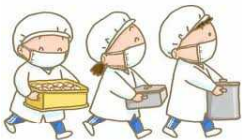
□友達とあいさつを交わす。



□米の中に  
小石が交じっていた。



□当番を交代してもらった。



160

星

星空だ

土星 金星よく見える



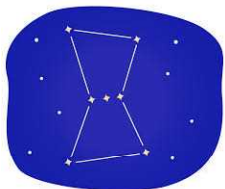
□流れ星を見た。



□星雲は星の集まり。



□冬の星座オリオン。





## 2・3学期の漢字

たしかめ

15

72	71	70	69	68
食	顔	雪	楽	合
夕食は、みんなで食べると楽しいね。	顔を洗うことを洗顔という。	大雪になって除雪が大変だ。	音楽の時間は楽しく歌いましょう。	答えが全部合っていた。合格だ。

たしかめ

16

77	76	75	74	73
妹	弟	止	走	歩
三姉妹、一番下の妹は甘えんぼ。	弟はとても元気だ。	信号の赤は「止まれ」だ。	助走から一気に全力で走り切った。	一日に歩く歩数は一万歩。

たしかめ

17

82	81	80	79	78
台	語	才	切	万
すべり台、上から下まで一直線。	外国語を小学校から習う。	子どもは遊びの天才だ。	のこぎりで木を切り二つに切断する。	この市の人口は約五万人。

たしかめ

18

87	86	85	84	83
北	工	図	広	絵
日本の一番北は北海道。	工夫して、紙工作をやってみた。	学校までの道を絵地図にする。	青空が広がる広大な空。	夏休みの思い出を絵日記に書く。

たしかめ

15

72	71	70	69	68
ゆうしよくは、みんなでたべるとたのしいね。	かおを洗うことを洗がんという。	おおゆきになって除せつがたい変だ。	おんがくのじかんはたのしく歌いましょう。	こたえが全部あっていた。ごう格だ

たしかめ

16

77	76	75	74	73
さん姉まい、いち番したのいもうとは甘えんぼ。	おとうとはとてもげんきだ。	信号のあかは「とまれ」だ。	助そうからいっきに全りよくではしり切った。	いちにちにあるくほすうはいち万ぼ。

たしかめ

17

82	81	80	79	78
すべりだい、うえからしたまでいつ直せん。	がいこくごをしようがつこうから習う。	こどもは遊びのてんさいだ。	のこぎりできをきりふたつにせつ断する。	この市のじんこうは約ごまんにん。

たしかめ

18

87	86	85	84	83
にほんのいち番きたはほつ海道。	く夫して、紙こうさくをやってみた。	がつこうまでの道をえちずにする。	あおぞらがひろがるこうだいなそら。	夏やすみのおもいでをえにつきにかく。

92	91	90	89	88
内	形	後	引	近
黄色い線の内側で電車を待つ。	三角形は、とがった形。	一番後ろは、最後です。	強引に引っ張ったら、切れた。	近づいてワツとおどかす近所の子。

97	96	95	94	93
雲	鳴	強	新	海
積乱雲を入道雲と呼んでいる。	空では雷鳴、鳥も鳴き止む嵐の夜。	相手は強いぞ、強敵だ。	新学期、新しいクラスになった。	深い海の底にいる深海魚。

102	101	100	99	98
朝	冬	店	船	晴
朝が来た。今日も朝食おいしいな。	熊は、冬の間は冬眠している。	お店が並ぶ商店街。	風船を船の上から飛ばした。	快晴とは、雲一つ無く晴れる日。

107	106	105	104	103
角	春	茶	市	週
四角形、角を切ったら八角形。	春の初めを早春という。	喫茶店でお茶でも飲もう。	市場で野菜を売っている。	一週間は七日です。

## たしかめ

19

92	91	90	89	88
きいろい	さん	いち番	強い	ちかづいて
せん	角けい	うしろ	に	ワツと
の	いは	は	ひつ張	とおかす
うち	は	最	たら	きん
側	と	ご	き	所
で	が	です	れた	の
電	た			こ
し	か			
や	ち			
を	ち			
	ち			
待				
つ				

## たしかめ

20

97	96	95	94	93
積乱	そら	相	しん	深
うん	では	ては	が	い
を	雷	つ	期	う
	めい	よい	あ	み
に	い	ぞ	た	の
ゆう	鳥	き	ら	底
道	も	よう	しい	に
ぐ	な	敵	ク	い
も	き	だ	ラ	る
と	や		ス	魚
呼	む		な	
ん	嵐		っ	
で	の		た	
い	よ			
る				

## たしかめ

21

102	101	100	99	98
あ	熊	お	ふ	快
さ	は	み	う	せい
が	ふ	せ	せん	い
き	ゆ	が	を	とは
た	の	並	ふ	は
	あ	ぶ	ね	雲
	い	商	の	ひ
	だ	て	う	と
	は	ん	え	つ
	は	街	か	無
	と		ら	く
	う		飛	は
	眠		ば	れ
	し		し	る
	て		た	ひ
	い			

## たしかめ

22

107	106	105	104	103
し	は	喫	い	い
か	る	さ	ち	っ
く	の	て	ば	し
け	初	ん	で	ゅう
い	め	で	や	か
、	を	お	菜	ん
か	そ	ち	を	は
ど	う	や	売	な
を	し	で	っ	の
き	ゅ	も	て	か
っ	ん	う	い	で
た	い		る	す
ら	う			
は				
ち				
か				
く				
け				
い				



## たしかめ

23

108	夏	夏の初め <small>はじ</small> を初夏 <small>しよ</small> という。
109	秋	さわやかな秋晴れ、秋分の日。
110	東	東京は、大阪 <small>さか</small> より東の方にある。
111	南	南国は、南の方の国。
112	西	日本より西にある西洋 <small>よう</small> の国。

## たしかめ

24

113	父	お父さんは、父親ともいう。
114	母	母親を「お母さん」と呼 <small>よ</small> んでいる。
115	兄	僕 <small>ぼく</small> の兄は五年生だ。
116	姉	妹は姉を「姉ちゃん」と呼 <small>よ</small> ぶ。
117	昼	お昼だな。今日の昼食、カレーだよ。

## たしかめ

25

118	紙	画用紙は、絵かきに使う <small>つか</small> 白い紙。
119	室	教室で静 <small>しず</small> かに自習 <small>しじゆう</small> をした。
120	売	新聞も本も売っている駅 <small>えき</small> の売店。
121	買	売り買いすることを売買という。
122	道	細い道から大きな道路 <small>ろ</small> に出る。

## たしかめ

26

123	米	ぜひ食 <small>く</small> べて。おいしいお米 <small>おうみ</small> の近江米。
124	歌	歌の歌詞 <small>し</small> を覚 <small>おぼ</small> えて歌う。
125	戸	台風が近づき雨戸を閉 <small>し</small> める。
126	曜	来週の水曜日は音楽会です。
127	午	明日の午後は晴れるでしょう。

たしかめ

23

108	なつの初めを初かという。
109	さわやかなあきばれ、しゅうぶんのひ。
110	とう京は、おお阪よりひがしのほうにある。
111	なんごくは、みなみのほうのくに。
112	にほんよりにしにあるせい洋のくに。

たしかめ

24

113	おとうさんは、ちちおやともいう。
114	ははおやを「おかあさん」と呼んでいる。
115	僕のあにはごねんせいだ。
116	いもうとはあねを「ねえちゃん」と呼ぶ。
117	おひるだな。きょうのちゅうしょく、カレーだよ。

たしかめ

25

118	が用しは、えかきに使うしろいかみ。
119	きょうしつで静かにじ習をした。
120	しんぶんもほんもうっている駅のばいてん。
121	うりかいすることをばいばいという。
122	ほそいみちからおおきなどう路にでる。

たしかめ

26

123	ぜひたべて。おいしいおこめの近江まい。
124	うたのか詞を覚えてうたう。
125	たいふうがちかづきあまどを閉める。
126	らいしゅうのすいようびはおんがくかいです。
127	あすのごごははれるでしょう。

## たしかめ

27

132	131	130	129	128
馬	取	池	岩	谷
馬二頭、並 <small>なら</small> んで馬車を引いている。	木の上で小鳥がさえずる。	水をためる池を貯水池 <small>ちよ</small> という。	岩山の岩石が道をふさぐ。	山の上から谷底 <small>ぞこ</small> を見る。

## たしかめ

28

137	136	135	134	133
細	電	魚	番	首
細いけれど強いたこ糸。	新しい電池を店で買った。	水そうで泳 <small>およ</small> ぐ魚は金魚です。	今日のテレビ番組を調 <small>しら</small> べる。	百人一首をやりすぎて首が痛 <small>いた</small> い。

## たしかめ

29

142	141	140	139	138
矢	弓	刀	汽	通
矢が的 <small>まと</small> に当たる。	バイオリンの弓は馬の毛で作る。	二本の刀を使う二刀流 <small>りゅう</small> 。	船の汽笛 <small>てき</small> が鳴る。	右側 <small>がわ</small> を通って通う通学路 <small>ろ</small> 。

## たしかめ

30

147	146	145	144	143
弱	黒	寺	里	直
弱い動物 <small>どうぶつ</small> を食べる「弱肉強食」。	黒くないけれど黒板 <small>ばん</small> という。	金色に輝 <small>かがや</small> くお寺、金閣寺 <small>かく</small> 。	山から里へ下りてきたサル。	直線がゆがんでしまい、引き直す。

たしかめ

27

1 3 2	1 3 1	1 3 0	1 2 9	1 2 8
うまにとう、 <small>なら</small> 並んでばしやをひいている。	きのうえでことりがさえずる。	みずをためるいけを貯 <small>ちよ</small> すいちという。	いわやまのがんせきがみちをふさぐ。	やまのうえからたに底 <small>ぞこ</small> をみる。

たしかめ

28

1 3 7	1 3 6	1 3 5	1 3 4	1 3 3
ほそいけれどつよいたこいと。	あたらしいでんちを店 <small>みせ</small> でかつた。	すいそうで泳 <small>およ</small> ぐさかなはきんぎよです。	きょうのテレビばんぐみを調 <small>しら</small> べる。	ひやくにんいつしゆをやりすぎてくびが痛 <small>いた</small> い。

たしかめ

29

1 4 2	1 4 1	1 4 0	1 3 9	1 3 8
やが <small>まと</small> 的にあたる。	バイオリンのゆみはうまのけでつくる。	にほんのかたなを使う <small>つか</small> にとう流 <small>りゅう</small> 。	ふねのき笛 <small>てき</small> になる。	みぎ側 <small>がわ</small> をとおつてかようつうがく路 <small>ろ</small> 。

たしかめ

30

1 4 7	1 4 6	1 4 5	1 4 4	1 4 3
よわい動物 <small>どうぶつ</small> をたべる「じやくにくきようしよく」。	くろくないけれどこく板 <small>ばん</small> という。	きんいろに輝 <small>かがや</small> くおてら、きん閣 <small>かく</small> じ。	やまからさとへおりてきたサル。	ちよくせんがゆがんでしまい、ひきなおす。

たしかめ

31

152	151	150	149	148
理	公	半	古	遠
理科室は、三年生から使います。	公園で友達と遊んだ。	このケーキ、私と姉で半分こ。	古い時代を古代という。	遠くまで遠足に行きました。

たしかめ

32

157	156	155	154	153
京	羽	帰	毎	用
京都にはたくさんのお寺がある。	一羽の鳥が、羽を広げて飛んでいく。	家に帰ることを帰宅という。	毎年、春にはツバメが来る。	画用紙を用いて作る馬の親子。

たしかめ

33

160	159	158
星	交	麦
星空だ。土星や金星がよく見える。	道と道、交わるところが交差点。	麦茶を飲んで少し休もう。



# たしかめ

31

1 5 2	1 5 1	1 5 0	1 4 9	1 4 8
りかしつは、さんねんせいから使 <sup>つか</sup> います。	こうえんでとも達 <sup>だち</sup> と遊 <sup>あそ</sup> んだ。	このケーキ、私 <sup>わたし</sup> とあねではんぶんこ。	ふるいじ代 <sup>だい</sup> をこ代 <sup>だい</sup> という。	とおくまでえんそくにいきました。

# たしかめ

32

1 5 7	1 5 6	1 5 5	1 5 4	1 5 3
きょう都 <sup>と</sup> にはたくさんのでらがある。	いちわのとりが、はねをひろげて飛 <sup>と</sup> んでいく。	いえにかえることをき宅 <sup>たく</sup> という。	まいとし、はるにはツバメがくる。 (*「まいねん」とも読 <sup>よ</sup> む)	がようしをもちいてつくるうまのおやこ。

# たしかめ

33

1 6 0	1 5 9	1 5 8
ほしぞらだ。どせいやきんせいがよくみえる。	みちとみち、まじわるところがこう差 <sup>さ</sup> てん。	むぎちやを飲 <sup>の</sup> んですこしやすもう。

2年生で習う漢字

1	風	31	来	61	園	91	形	121	買	151	公
2	元	32	門	62	知	92	内	122	道	152	理
3	読	33	回	63	体	93	海	123	米	153	用
4	言	34	高	64	長	94	新	124	歌	154	毎
5	光	35	黄	65	太	95	強	125	戸	155	帰
6	話	36	色	66	肉	96	鳴	126	曜	156	羽
7	丸	37	外	67	同	97	雲	127	午	157	京
8	声	38	国	68	合	98	晴	128	谷	158	麦
9	行	39	地	69	楽	99	船	129	岩	159	交
10	分	40	前	70	雪	100	店	130	池	160	星
11	記	41	野	71	顔	101	冬	131	鳥		
12	書	42	原	72	食	102	朝	132	馬		
13	方	43	頭	73	歩	103	週	133	首		
14	作	44	答	74	走	104	市	134	番		
15	点	45	牛	75	止	105	茶	135	魚		
16	線	46	場	76	弟	106	春	136	電		
17	画	47	会	77	妹	107	角	137	細		
18	数	48	思	78	万	108	夏	138	通		
19	聞	49	今	79	切	109	秋	139	汽		
20	何	50	社	80	才	110	東	140	刀		
21	考	51	親	81	語	111	南	141	弓		
22	夜	52	友	82	台	112	西	142	矢		
23	間	53	明	83	絵	113	父	143	直		
24	多	54	計	84	広	114	母	144	里		
25	少	55	算	85	図	115	兄	145	寺		
26	毛	56	組	86	工	116	姉	146	黒		
27	当	57	家	87	北	117	昼	147	弱		
28	時	58	自	88	近	118	紙	148	遠		
29	活	59	心	89	引	119	室	149	古		
30	科	60	教	90	後	120	売	150	半		